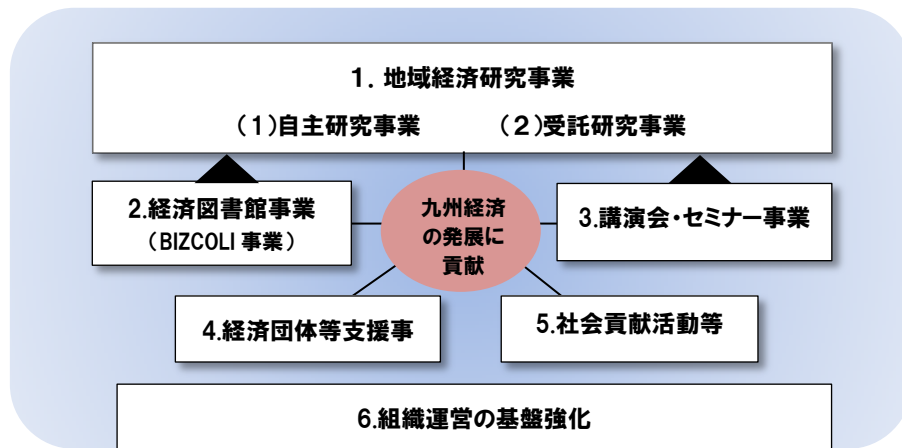


平成 26 年度事業計画について

平成 26 年度は公益財団法人に移行して 2 年目を迎える。平成 26 年度からは公共性の高い地域経済研究事業に重点を置き、九州経済の活性化に資する研究を強化する。特に自主研究事業については九州経済にとって要望の強いテーマを自主的に取り組む。



1. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

① 幹事会からの提案

平成 25 年度幹事会からの提案を受け、自主研究事業として、「東九州道の開通と九州経済の展望 (仮題)」をテーマに調査を行う。東九州自動車道の開通をにらみ、大分、宮崎のシンクタンクとも連携をとりながら影響を調査し、東九州や九州全体への地域振興に向けた研究結果をまとめる。

- テーマ : 東九州道の開通と九州経済の展望 (仮題)
- 連携機関 : ㈱大銀経済経営研究所、(一財) みやぎん経済研究所

② 九州経済白書の強化

九州で起きている構造的な変化をテーマに取り上げ、「九州経済白書」としてまとめ、地域の動きと展望を描く。説明会をあわせて実施し、成果を広く伝える。

③ 企業ニーズに対応した月報等定期刊行物の発行

「九州経済調査月報」では、九州経済を取り巻く環境に対応しながら、地域の動きを把握し、今後起こり得る動きをタイムリーに会員や地域に伝えていく。

その他の事業
(1) 定期刊行物の発行（データ九州、図説九州経済）
(2) 研究会活動への参加（日韓海峡圏研究機関協議会等）

（２）受託研究事業

受託研究事業は、自主研究を支えるべく情報の蓄積、人脈形成、情報の拠点となるべく遂行し、産学官をつなぐ要としての役割も果たしていく。受託研究事業では、地域や産業の振興を図る他、経済団体との連携事業において、「九州経済を考える懇談会」など、大局に立って九州経済を考える会議にも積極的に参加する。

2. 経済図書館事業（BIZCOLI 事業）

BIZCOLI は「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに据え、地域経済図書館としてサービスを強化し、地域や会員のニーズに応じていく。

地域経済図書館としてのサービス
● 専門書や統計の蓄積 ● データ、情報の照会サービス ● 書籍、映像、製品の展示等
ビジネスの最新情報・アイデアの提供
● メールマガジン“Kyushu Business Headline”の配信 ● 取材記“Researcher’s Note”の配信
ビジネス人脈の形成
● 自主セミナー開催後のアフターセミナーとして開催
スキルアップのための個室空間の提供
● マイデスクゾーン

3. 講演会・セミナーの開催

地域の皆様に経済について考えていただく機会や、当会の調査結果を広く伝えるために、自主企画による講演会・セミナーを開催する。定例の講演会・セミナーや BIZCOLI でのセミナー等にとどまらず、九州各地でのセミナーも積極的に開催する。

(1) 九州各地でのセミナー等	
①九州経済白書説明会	九州経済白書の刊行にあわせて、九州 12 都市で説明会を開催
②九経調セミナー	各地のトピックにあわせたテーマでセミナーを開催。26 年度は鹿児島を予定
③各県セミナー(仮題)	各県庁幹部との意見交換会を開催
(2) 定例の講演会・セミナー	
①九経調交流会	会員を対象とした講演会と会員相互の交流を目的として開催
②特別講演会	地域のビジネスマンや会員に対する経済講演会を開催
③九経調参学会	参学会メンバー(国の出先機関の局長等)と役員との意見交換を開催
④アジア経済講演会	ジェトロ・アジア経済研究所との共催で講演会を開催
⑤調査技法セミナー	若手調査マンを対象とした調査ノウハウを伝えるセミナーを開催
⑥経済講演会(仮題)	我が国や九州経済の今を知る講演会を開催

(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント	
①九経調イブニングセミナー	当会研究員や外部の専門家が講師を務める多様なテーマのセミナーを開催
②サイエンス・カフェ	科学者と市民が科学について気軽に語り合う勉強会を開催
③アートイベント	経済図書館 BIZCOLI で開く芸術をテーマとしたイベントを開催
その他、企業とのコラボイベント、個人会員向けのイベントなどを行う	

4. 経済団体等支援事業

(1)福岡経済同友会からの事務局受託	事務局運営にあたり、当会の調査研究ノウハウを活かした提言や意見書の取りまとめを行うほか、BIZCOLI における行事の実施など、事務局業務と九経調業務との連携を最大限に発揮した活動を行う。
(2)九州経済を考える懇談会の共同事務局	九州の各経済団体のトップが、一堂に会する会議で、九州の最重要課題や将来展望について自由に議論する場である。当会理事長がコーディネーターを務めており、平成 26 年度も引き続き共同事務局を受託して計画・運営にあたる。
(3)アジア半導体機構 (ASTSA) の事務局	アジア半導体機構 (ASTSA) は、アジアを中心とした海外と九州の半導体関連産業とを繋ぐ仲介役の任意団体である。ASTSA が開催する MAP (半導体実装国際ワークショップ: Microelectronics Assembling and Packaging) を開く。
(4)地域政策デザイナー養成講座の事務局	地域政策デザイナー養成講座は、中堅・若手の社会人、大学院生を対象に、各界の有識者や専門家の講義を聴き、討論を重ねながら具体的な政策提案をする九州大学セミナーである。平成 26 年度も開講が予定されており、事務局として講座運営を支援する。
(5)九州ソーラーネットワーク (SONEQ) の事務局	九州ソーラーネットワーク (SONEQ) は、九州の太陽光発電関連産業の企業群と教育機関や行政等が一体となり、太陽電池の市場拡大や産業の裾野拡大・地場企業の振興、人材育成等を支援する産学官民ネットワーク組織である。事務局として太陽光発電関連産業の振興や普及拡大を支援する。
(6)九州エコライフポイントの事務局	当会を事務局として、「九州版炭素マイレージ制度事業 (愛称:九州エコライフポイント事業)」を実施、運営されている。平成 26 年度も継続が予定されており、引き続き事務局を受託して九州の低炭素社会づくりを支援していく。

5. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、以下の活動を行う。

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| (1)行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 | (3)個別テーマの講演依頼による講師派遣 |
| (2)大学への非常勤講師の派遣 | (5)新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載 |
| (4)テレビ・ラジオ等への出演 | (7)国内外の会議への参加 |
| (6)国の機関や外国公館との意見交換会 | |
| (8)インターンシップの受入等 | |

6. 組織運営の基盤強化

(1) 会員基盤の強化	会員基盤の充実にむけて、全身体制による会員拡大・会費増額に努力するほか、定期刊行物やセミナー・研究会の充実、BIZCOLI の利用促進などにより、賛助会員・BIZCOLI 会員の増加を図る。
(2) 公益財団法人としての運営組織の確立	新しい役員組織による事業運営・経営を確立、公益法人会計基準に準拠した財務管理の実施などにより、公益財団法人としての経営や事業の質の向上を推進する。